

平成27年度

川崎市立中学校
学習状況調査
報告書

川崎市教育委員会・川崎市立中学校長会

はじめに

川崎市教育委員会
教育長 渡邊 直美

平成 27 年 8 月 26 日、中央教育審議会教育課程企画特別部会において、新しい学習指導要領が目指す姿等を示した「論点整理」がとりまとめられ、学習指導要領の改訂に向けた取組が進められております。

本市におきましても、今年度から、今後概ね 10 年間にわたる本市教育の指針としての第 2 次川崎市教育振興基本計画「かわさき教育プラン」の取組を進めているところです。本プランは、第 1 次計画の果たしてきた役割を継承しつつ、子どもの実態、子どもを取り巻く環境の変化、市民の皆様の学習ニーズの多様化、その他変化の激しい今日の社会情勢等を踏まえ、基本理念に、「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」と定めるとともに、基本目標に「自主・自立」「共生・協働」をキーワードとしながら、社会的自立に必要な能力・態度、共生・協働の精神と実践力を育むことを位置づけ、その実現に向けた施策の推進を図るものです。

川崎市立中学校学習状況調査は、教育プランの基本政策である「学ぶ意欲を育て、『生きる力』を伸ばす」の「確かな学力の育成」に基づき実施しております。「確かな学力」を育成するためには、「学習に取り組む意欲・態度」「基礎的・基本的な知識・技能」「課題を解決するための思考力・判断力・表現力等」をバランスよく育むことが必要となります。

そのため、今回の調査から問題を「知識・技能」と「思考・判断・表現」に分け、それぞれについて市の平均正答数を示すことにより、生徒一人一人の学習状況をより分析的に把握できるように改善を図りました。また、「学習に取り組む意欲・態度」に関わる「生活や学習に関するアンケート」につきましては、生徒の取り巻く環境の変化に対応するために、携帯電話やスマートフォンに関する項目の見直しを図りました。今後もアンケートの結果を基に、生徒一人一人の学習に対する意識や家庭生活の状況について、把握してまいりたいと考えております。

各学校におかれましては、生徒一人一人に「確かな学力」が身に付けられるよう本調査の結果を活用し、指導方法や教育課程編成の改善を図るとともに、生徒の学習状況等を家庭と共有し、連携・協力した取組を進めていただきたいと思いますと考えております。

結びに、本調査の運営・実施にあたりご尽力いただきました中学校現職教育委員会をはじめとする中学校長会の皆様に厚くお礼申しあげます。

平成 27 年度「川崎市立中学校学習診断テスト」のまとめにあたって

川崎市立中学校長会
会 長 伊藤 民子

川崎市におきましては、本年度から、概ね 10 年間の教育振興基本計画を示した第 2 次川崎市教育基本計画「かわさき教育プラン」に基づき、さまざまな教育施策を展開しております。「確かな学力の育成」は「かわさき教育プラン」における大きな柱であり、川崎市立中学校学習状況調査は、本市の子どもたちに確かな学力を育むための事業の一つとして位置づけられております。

川崎市立中学校学習診断テストは、昭和 43 年度より校長会の委託事業として市内の全中学生を対象に始まり、今年度は 48 回目の実施となります。学習診断テストは、各学校が一人一人の生徒の学力や学習状況を的確に把握し、教育課程の編成や指導方法の検証・改善を図ること、生徒と保護者に学習状況を伝え、家庭での学習習慣の確立に役立てること等を目的としております。平成 17 年度からは、「かわさき教育プラン」に則り、2 年生については川崎市立中学校学習状況調査として 5 教科のテストとともに、「生活や学習についてのアンケート」もあわせて実施するようになりました。

確かな学力を育むためには、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成の双方が重要であることが現行学習指導要領改訂の基本方針に述べられております。このことに則り、本年度調査から、テスト問題につきましては、「知識・技能」と「思考・判断・表現」に分けて分析するように改善いたしました。また、1、3 年生につきましては、自己分析カードを作成し、生徒が自らの学習状況を振り返り、新たな自分の目標や課題をもって学習を進めることができるように工夫しております。

本報告書は、5 教科に関する調査について出題の趣旨や正答及び今後の指導にあたっての留意点をまとめております。また、「生活や学習のアンケート」による生徒の学習状況の調査結果と分析を掲載いたしました。各学校におかれましては、本報告書をご活用いただき、自校の結果や分析を行うことで、生徒の教科指導や学習状況の改善等に役立てていただきたいと存じます。

最後になりますが、学習診断テストの実施に際しまして、ご尽力いただきました、川崎市教育委員会、校長会現職教育委員会及び教育研究会の各教科部会、教頭会の皆様には多大な苦勞をおかけしました。心より感謝申し上げます。

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の内容	5
3. 調査の対象	5
4. 調査実施日及び調査対象人数	5
(1) 調査実施日	5
(2) 調査対象人数	5

II 調査結果の概要

1. 国語	9
誤答分析と学習指導上の考察	9
2. 社会	29
誤答分析と学習指導上の考察	29
3. 数学	49
誤答分析と学習指導上の考察	49
4. 理科	69
誤答分析と学習指導上の考察	69
5. 英語	87
誤答分析と学習指導上の考察	87

III 生活や学習についてのアンケート

調査の概要	107
調査結果と分析	108
単純集計	108
クロス集計	121
各教科の正答率と相関	129
資料 調査結果集計表	132

IV 問題用紙・解答用紙・アンケート質問紙

国語	141
社会	170
数学	208
理科	226
英語	274
生活や学習についてのアンケート	306

I 調査の概要

1. 調査の目的

学習指導要領に示されている各教科（国語・社会・数学・理科・英語）の目標および内容の「基礎的・基本的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」について学習したものが、いかに生徒に定着しているかを全市一斉に学年ごとの同一の問題によって調査する。そして、その結果を診断し、今後の学習指導の改善に役立たせる。また、生徒自らが学習状況や学習課題の把握ができるようにする。

2. 調査の内容

○国語・社会・数学・理科・英語

調査の目的に基づき、学習指導要領に示されている各教科の目標及び内容の基礎的・基本的な事項について、各教科の出題範囲に基づいて、全学年を対象とする調査を実施した。

○学習意識調査（生活や学習についてのアンケート）

生徒の生活や学習に対する意識等について明らかにするために、第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

4. 調査実施日及び調査対象人数

(1) 調査実施日	平成27年11月10日（火）	
(2) 調査対象人数	中学校第1学年	9,796人
	中学校第2学年	9,722人
	中学校第3学年	9,747人
	生活や学習についてのアンケート	9,126人

Ⅱ 調査結果の概要

